

被災 70 年 3・1 ビキニデー集会アピール（案）

1954 年 3 月 1 日、アメリカがマーシャル諸島ビキニ環礁で行った水爆実験により、多くの日本漁船やマーシャル島民が被災し、核軍備競争と深刻な放射能汚染が引き起こされてから 70 年が経ちました。私たちは、被災船「第五福竜丸」の帰属する静岡に集まり、核兵器廃絶を実現する決意といまも救済と補償を求める被害者・家族のみなさんへの連帯の思いを新たにしています。

2021 年 1 月 22 日、核兵器禁止条約が発効し、核兵器が全面的に禁止され、核兵器廃絶に向けた新しいステージが始まりました。現在、同条約の署名国は 93 か国、批准国は 70 か国です。昨年 11 月 27 日～12 月 1 日に開かれた核兵器禁止条約第 2 回締約国会議は、59 の締約国と NATO（北大西洋条約機構）加盟国のドイツ、ノルウェーなど 35 カ国がオブザーバー参加し、「核抑止力論」への批判が議論され、核兵器廃絶への希望を示す会議として大きな成功を収めました。

一方、ロシアによるウクライナ侵略が 3 年目に入り、イスラエルによるガザ侵攻も継続、依然として核使用の威嚇が続いています。北東アジアでは、北朝鮮の核・ミサイル開発、台湾海峡問題、尖閣諸島問題があり、軍事対軍事、核対核の危険な対応が緊張を高めています。

すべての当事国は、軍事ブロックと軍拡、核の威嚇の危険な対応をやめ、国連憲章を遵守し、国際法に基づく紛争の平和的な解決をめざすべきです。また、これまでの NPT（核不拡散条約）再検討会議で達成された核兵器廃絶の合意を誠実に履行すべきです。

その中で、日本政府がアメリカの「核の傘」にしがみつぎ、これまでの「専守防衛」政策も投げ捨て、「敵基地攻撃能力」（反撃能力）保有の大軍拡を推しすすめ、核兵器禁止条約に背を向けていることは日本国憲法の平和理念に反し、唯一の戦争被爆国にあるまじきことです。

日本政府は、アメリカの核戦略への依存をやめ、核兵器禁止条約に署名・批准すべきです。

「日本も核兵器禁止条約に参加を」の声を大きくひろげ、様々な分野でたたかう人々との連帯と共同を豊かに発展させましょう。

被災 70 年 3・1 ビキニデーを出発点に、草の根の行動に踏み出し、広島、長崎被爆 80 年を運動の前進の中で迎えよう。

- ◇核兵器の非人道性についての国民的な理解と合意をめざす「ビキニ被災 70 年から被爆 80 年へー非核の日本をめざす全国キャンペーン」を成功させよう。
- ◇日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める運動を大きくひろげよう。
- ◇ロシアは直ちに武力侵略・核兵器による威嚇を止め、ウクライナから撤退せよ。
- ◇イスラエルはガザ侵攻をただちに中止せよ。
- ◇国連憲章にもとづく紛争の平和的解決、核兵器全面禁止を要求する世論をひろげよう。
- ◇日本政府に、「安保 3 文書」の撤回、戦争準備の大軍拡と大増税をやめ、憲法にもとづく平和外交を求めよう。
- ◇日本政府にビキニ事件の被災の実態を認めさせ、速やかな救済と補償を求めよう。
- ◇日本政府に「黒い雨」被害に遭ったすべての被害者を被爆者として認定させ、救済させよう。
- ◇被爆者の証言活動、原爆写真展を開催し、被爆の実相をひろめよう。
- ◇原発再稼働の中止、原発新增設の中止、志賀原発と柏崎刈羽原発を含むすべての原発の廃炉、原発からの脱却と自然エネルギーへの転換を求めよう。
- ◇気候危機打開、ジェンダー平等、格差の是正、生活を守る運動と連帯し、行動しよう。
- ◇原水爆禁止平和行進をすべての自治体につなごう。原水爆禁止 2024 年世界大会を成功させよう。

ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ、ビキニ、フクシマ、
ノーモア・ヒバクシャ、ノーモア・ウォー

2024 年 3 月 1 日 被災 70 年 3・1 ビキニデー集会